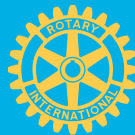




人類に奉仕する
ロータリー

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



会報

2016 ▶ 2017
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **友情の和を拡げ
奉仕の和を拡げよう**

会長 / 渡邊裕久 幹事 / 高橋理佳

プログラム

- 本日
「創立記念夜間例会」
- 次週予定
来賓卓話「松浦武四郎と留萌」
留萌市教育委員会 生涯学習課生涯学習係
嘱託 福土 廣志氏

No. 2732
第31回 2月22日

出席報告

前例会

会員総数	36名
出免会員	5名
出免出席	4名
基準会員出席	23名
出席率	77.15%

前々例会

第28回 2月1日

欠席会員	12名
内メイクアップ	3名
修正出席率	75.00%

例会 / 毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

📝 会長報告

- 2017~2018年度会長エレクト研修セミナーの案内を受領しました。日時は2017年3月4日(土)~3月5日(日)で、場所は函館市末広町の五島軒本店にて開催されます。詳しい内容は次年度会長、幹事に渡してあります。
- 妹背牛RCから創立50周年の記念誌を頂きました。皆様に回覧いたします。

📁 幹事報告

- 深川RCより1月会報と2月例会案内を受領しました。
- 2016年版手続要覧(日本語版)のクラブ無料贈呈分が本日届きました。
- 先週もお知らせ致しましたが、ロータリー手

帳の申し込みをなさる方は幹事まで申し出下さい。

- 今月2月23日に予定していた、定例理事会並びにクラブ協議会は会場の都合により2月24日に変更になりました。

👥 委員会報告

親睦活動委員会

青山 副委員長

次週の夜間例会のご案内です。次週は創立記念例会で、光風館石亭で6時30分点鐘です。全員出席が叶う様に多くの会員の出席を望みます。よろしくお願ひします。

 **3分間情報**

会員研修委員会 **高田 潔委員**

本日は、ガバナー月信9月号から丸山パストガバナーの「国際ロータリー 2016規定審議会その後」についてです。

規定審議会が終了し3ヶ月が経過しました。その後の皆様から寄せられた質問や疑問事項について述べようと思います。英文の「手続き要覧」はすでにR Iのホームページに掲載されました。日本の手続き要覧はロータリークラブ定款の部分のみ発表されています。10月頃にはすべての手続き要覧が日本語版で発表されると思います。製本として手元に届くのは今年の12月頃なると予測されます。

クラブ理事会に関しては、すでに殆どのクラブで報告書が作成されており、問題提起はありませんでした。また、クラブ理事会に会計が加わる事も理解が得られたと思います。休日を含む週の例会取りやめに関して、「…することができる。」という文言から、そうしなくても良いのでは無いかという疑問が寄せられました。しかし、クラブ定款第6条の条文そのものには一切変更はなく、(C)の取消の項目に今回新たに、「またはその週に一般に認められた祝日を含まれる場合」という文章が挿入されただけなのです。…その後の1年に4回まで例会を取りやめる事ができる…も同じ項目に記載されています。現在、その国の祝日に例会を開催しているロータリークラブは皆無であります。今後、祝日を含む週に例会を開催すると言う事は、この条文を無視する事になります。ですから必ず例会は取消にしなければなりません。もちろんロータリークラブ定款に従わなくても罰則はありません。また、今回の「柔軟性」という決定により、自分たちのクラブ細則で決定された事は最優先されますので、定款に反したクラブ細則を独自に作成しても構いません。

となっております。次回はこの続きから発表させていただきます。

 **ニコニコBOX**

・櫛井会員のお話がとても楽しみです。

渡邊会長

・本日地区での学びなど卓話させていただきます。

櫛井会員

・少し良い事がありました。

渡部会員

・2月3日、無事娘が誕生しました。また、本日留萌開運郵便局で初口座を作ってきました。開運しますように。

嶋原会員

前 回 523,600円

今 回 4,000円

累 計 527,600円

 **プログラム**

「職業奉仕卓話 四方山話」

地区職業奉仕・基本理念委員会

櫛井 俊介 会員

今年度、職業奉仕・基本理念委員会へ出向させていただきます。

地区委員というものを皆様がどのように感じているかはわかりませんが、若干の苦勞を差し引いても自身に得る事の大きさを考えるとプラスになる事しか思い浮かびません。

本日は地区での活動や学びを皆様にお伝えするお時間をいただきました。時間の関係上本当に一部しかお伝えできませんがお許しください。

2015年11月に当時の委員長でありました千歳RC福田委員長が留萌へ卓話にいらした際に、地区委員へお誘いをいただきました。この広い北海道での地区活動を現代にあったものにしようという事で、グーグルのハンガアウトというグループトークを利用して、月に一度のインターネット会議室を導入しておりました。またチャットワークというサービスを利用して、多くの資料の共有と議論の場を設けております。こちらは今年度より各クラブの職業奉仕委員長も参加して、現在33名で情報交換しております。

まずは今年から、なぜ「職業奉仕・基本理念

委員会」へ変わったかという事を説明させていただきます。

今年度、武部ガバナーは2510地区組織を大きく変革しました。

その組織案の段階において、国際協議会で「職業奉仕」に全然触れないことに大変驚かれたとのことです。グローバルリワードや人道的プログラムに重点が置かれていることはR Iの現状といえます。世界各地に120万人のロータリアンがいます。この現状を「危機」と感じているロータリアンもいれば「危機」と感じず当然と思うロータリアンもいます。具体的に言えば、日本・韓国・台湾などのロータリアンの「職業奉仕」に対する考えと、アメリカ本土のロータリアンの「職業奉仕」に対する考え、ロータリーの支援を受けている地域のロータリアンの「職業奉仕」に対する考え、はたまた「R I B I (グレートブリテン及びアイルランド内国際ロータリー)」の考え。全然違います。

私たち日本のロータリアンは「危機感」を感じていると私は思います。111年のロータリー史のなかでR Iの職業奉仕委員会が約40年の間消えていた歴史があります。(1947年ポールハリスが逝去し翌年廃止) それを1986年に復活させたのは日本や韓国の熱いロータリアンの働きかけです。最近の規定審議会(2000年-2010年)でR I B Iより職業奉仕を否定するような案(He profits most who serves bestを廃止する案など)が提案されています。ロータリーの中での職業奉仕が危機的環境下に置かれていると思います。

そこで武部ガバナーは、単に職業奉仕委員会を残すのではなく、様々な視点から過去を見つめロータリーの基本理念とはなにかを今一度考えてほしいと「職業奉仕・基本理念委員会」となりました。

最近も世界における職業奉仕の理念の話題となり、現在もアドバイザーとして委員会にも出席して下さる塚原房樹PGが職業奉仕委員長だった1998年に<ロータリーと宗教>にこのように寄稿している記事を拝見しました。



アメリカのロータリークラブの例会では、会員全員がクラブライフをエンジョイしています。日本のロータリー運動のように、職業奉仕とはなにか、決議23-34が手続要覧から消えた、我々の信奉していたロータリーの哲学はいったいどうなったのか、と言った議論は聞かれないのです。

なぜなら、ロータリーの“奉仕の理想”とは中世キリスト教神学そのものなのです。今更ロータリーの例会で“奉仕の理想”“隣人への愛”を改めてかんかんがくがくする必要は無いのです。

日曜ごとの礼拝を通じて、奉仕哲学のベースメントは出来上がっているのです。職業奉仕とはボケーションナル・サービスの訳語です。ボケーションナルとは、ボイス「神の声」であり、神のみ心にしたがって厳しい職業倫理のもとに、世のため、人のために商売を営むことは彼らにとって当たり前のことなのです。

“宗教的行動”そのものが、実は“経済的行動”であつたでしょうし、もしそれが言過ぎならば、少なくとも二つは結びついてたときまで言えるでしょう。ロータリーの職業奉仕は、彼らにとっては常識なのです。こうした“厳しい職業倫理”は、経済発展に不可欠な土壌であり、正しい手段で富を得たものは、神の特別な恩恵を受けたものと、正当化されています。然し、富を目的としてはならず、社会のため、神の他の子供たちのために還元するという義務も負うこととなります。そしてこの考え方は、カーネギー財団やロックフェラー財団などの活動の中に今日も生かされています。

第30回 2月15日(水) 天候/曇

一部抜粋です。

職業奉仕を説いた約20年前の文章です。

最近「日本は職業奉仕を重んじている」や「日本だけが職業奉仕の大切さを重視している」など、いかにも日本だけが理念を大切にしているかのごとく述べられる方が多いですが、上記文章を読ませていただくと、それは「日本人のおごり」にすぎないと思います。

彼らは宗教上「真実かどうか」を安息日に毎週自問自答しているのです。

これで、アメリカの職業奉仕の考えと日本の職業奉仕の考えに微かに糸口が見えてきたような気がします。

時間も限られておりますので、皆様になんのお話をするか非常に悩みましたが、例会運営委員長と相談の結果、決議23-34などを含めたロータリーの歴史の話をという事でした。普通に話すと2時間はかかる話ですので、ここからは要点だけ駆け足になりますがお許しください。

初期の歴史からパワーポイントと一緒に説明します。(内容は省略)

例会プログラム【3月】

3月8日(水)

来賓卓話「道内交通事故の発生状況・実態」

留萌市交通安全協会 専務理事 瀧口 昇氏

3月15日(水)

「諮問委員会報告」

諮問委員会委員長 渡部 英次 会員